

令和6年度第2回大和市社会教育委員会議臨時会（第33期） 会議録

会議名（審議会等の名称）	令和6年度第2回大和市社会教育委員会議臨時会（第33期）		
開催日時	令和7年2月3日（月曜日）午後3時30分～午後4時10分		
開催場所	文化創造拠点シリウス6階 生涯学習センター601講習室		
出席状況	委員	9人：大川委員、小早川委員、小森委員、齋藤委員、中村委員、中山委員、長谷部委員、藤倉委員、丸田委員	
	関係各課	1人：図書・学び交流課長	
	事務局	2人：文化スポーツ部図書・学び交流課学び交流係長、同係員1人 学び交流係（046-259-6104）	
	傍聴人数	0人	
公開・非公開の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開		
非公開・一部非公開の場合はその理由			
審議又は検討経過及び結果	<p>1 会議次第</p> <p>（1）あいさつ</p> <p>（2）報告事項</p> <p>1）大和市生涯学習推進計画について</p> <p>2）令和6年度社会教育委員に関する研修会等について</p> <p>（3）その他</p> <p>2 審議及び結果</p> <p>主な内容は次のとおり</p> <p><開会></p> <p><報告事項></p> <p>1）「1）大和市生涯学習推進計画について」</p> <p>（市）第2期にあたる現計画が令和6年度をもって最終年度を迎えたことから、これまでの取組による成果や課題の抽出、市民アンケートの結果、市の内部会議、教育委員や社会教育委員の皆様からのご意見、また、国や県における生涯学習施策の動向や社会情勢など様々な要素を踏まえながら、令和7年度から令和11年度までの5年間の新たな計画の策定を進めてきた。社会教育委員会議においては、4月24日の第1回定例会、7月1日の第2回定例会、8月13日の第1回臨時会、11月28日の第3回定例会と、委員の皆様にご意見を頂戴している。また、12月1日から1月6日までは、資料2「大和市生涯学習推進計画（案）に関する市民意見募集の結果について」のとおりパブリック・コメントを実施し、市民の皆様からの意見を募集したが、ご意見は無かった。資料3のとおり、大和市生涯学習推進計画について教育委員会から諮問があり、社会教育委員会議として答申をするものである。審議に入る前に、計画の概要、現計画からの主な変更点などについて、改めて簡単にご説明させていただく。</p> <p>計画の概要については、資料1「社会教育委員会 第2回臨時会説明資料」をご覧ください。（資料1を読み上げ。）</p> <p>計画の主な変更点については、資料4「計画（案）」の冊子でご</p>		

説明する。まず表紙について、第3期にあたる次期計画の名称を「大和市生涯学習推進計画」とした。第2期の現計画では、健康都市やまとの実現のため、生涯学習施策を推進していくという観点から、「健康都市やまとMANABI計画」という名称としていたが、学校教育基本計画との名称のバランスや、近隣他市の同種の計画の名称の状況などを総合的に判断し、第1期と同様に「大和市生涯学習推進計画」としたものである。次に14ページ、目標の体系については記載のとおりである。基本目標は、第10次大和市総合計画の将来都市像実現に向けた「目標1 いつまでもみんなが元気でいられるまち」をベースに、「豊かな心を育む生涯学習のまちをめざして」とした。施策目標、個別目標の体系は現計画と同様としているが、文言について、第10次大和市総合計画や国の第4次教育振興基本計画に合わせて見直しを図っている。20ページからの、「成果を計る主な指標」については、次の項目について新たに追加をし、充実を図っている。20ページの個別目標1—(1)「市民一人ひとりにとっての「居場所」の提供」の黒丸二つ目「誰でも気軽に利用できる学習スペースを提供します。」の表の2段目【渋谷中学校学校開放「下和田の郷」の利用者数】については、健康都市大学が令和5年度に事業終了したため、「居場所」の提供に係る事業として、渋谷中学校に併設された学校開放スペースで実施している「下和田の郷」の利用者数を新たに指標に追加したものである。22ページの個別目標1—(3)「多様な学習ニーズや家庭教育支援など現代的課題に合わせた学習機会」の黒丸三つ目「家庭教育支援に関する学習機会を提供します。」の表【家庭教育支援に関する講座等の延べ参加者数】については、令和5年10月に大和市社会教育委員から大和市教育委員会に提出された提言書「子どもの育ちを支える家庭教育の支援のあり方について」の提言内容を、指標に反映したものである。23ページの個別目標1—(5)「創造力と感性を育む芸術・文化や郷土の歴史・伝統文化に関する学習機会の提供」の黒丸一つ目「芸術や文化に親しむことができる学習機会を提供します。」の表【一般公募展出品作品数】、24ページの一つ目の表【やまとコミュニティ音楽館1館平均の来場者数】、同24ページの黒丸一つ目「歴史や伝統が受け継がれていくための学習機会を提供します。」の一つ目の表【やまと子ども伝統文化塾の累計受講者数】、これら3つは、文化・芸術に関する成果指標の充実を図るため、新たに追加したものである。32ページの個別目標3—(2)「支援・推進体制の充実」の黒丸二つ目「社会教育主事・社会教育士(市職員)による支援の充実を図ります。」の表【社会教育主事・社会教育士(市職員)が地域団体の事業や会議等に参加し、支援した回数】については、「家庭教育支援に関する講座等の延べ参加者数」同様、令和5年10月に提言書「子どもの育ちを支える家庭教育の支援のあり方について」の提言内容を指標に反映したものである。主な変更点は以上である。それでは、ご審議を願いたい。

(議 長) ご意見、ご質問はあるか。特に無ければ、答申については議長に一任ということで、承認してよいか。

(一 同) 異議なし。

1) 「2) 令和6年度社会教育委員に関する研修会等について」

(議 長) 資料5の6番目、「神奈川県公民館連絡協議会第66回公民館大会」の報告を、出席した委員よりお願いしたい。

(委 員) 1月24日(金)、場所は寒川町民センターのホールで公民館大会が開催され、出席した。午後1時に開会し、開会のことば、主催者及び開催地挨拶、祝辞があり、その後式典が行われた。式典では、まず表彰が行われた。優良公民館表彰では、相模原市立相模湖公民館、相模原市立藤野中央公民館、平塚市立大野公民館の3館が表彰された。職員等功績表彰では、相模原市立星が丘公民館から2名、坂庭京さんと高橋浩さんが表彰された。私は表彰された2人と以前一緒に仕事をすることがあるので、とても嬉しかった。永年勤続表彰では、15名の方が表彰された。表彰の後、公民館の歌を全員で歌う時間があり、私も久しぶりに歌わせていただいた。式典の後には講演会があり、休憩を挟んでパネルディスカッションが行われた。その後、会旗の引継が行われ、次期開催地である中井町の井ノ口公民館館長のあいさつがあり、閉会となった。

講演については、「等話で公民館活動をさらに生き生きと」というテーマで、尚綱学院大学教授の松田道雄氏による講演であった。等話という言葉は初めて知った。等話とは、「人として平等な会話」を略した言葉である。公民館はいろいろな方と話したり接したりする機会が多くあるので、等話を心がけながら人と人の繋がりを大切に、コミュニケーションを取りながら活動していきましょうという話であった。「等話の心がけ5か条」ということで、①今、目の前の人との出会いに感謝する。②お互いの話す時間が平等になるよう、心がける。③自己完結せず、短く話して、問いかける。④相手の話に関心をもち、返答し、短く話して、また問いかける。⑤この場で生まれる話を、ともに作ろうと心がける。以上5つの心がけが大切だということであった。講演の最後の15分ぐらいは、近くに座っている参加者同士で話す時間が設けられた。

次に行われたパネルディスカッションについても、引き続き尚綱学院大学教授の松田道雄氏がコーディネーターとなり進行していた。パネリストとして寒川町の町民センター館長、北部公民館副館長、南部公民館副館長、町民センター事業責任者、北部公民館生涯学習推進員、だがしや楽校出店者の6名が登壇していた。内容としては、公民館の活動の中で、いくつかの事業をピックアップし、その成果や課題、改善点について話を聞いていくという流れで行われた。講演と同様に、最後の15分ぐらいでパネルディスカッションの内容を踏まえ、近くに座っている参加者同士でお互いの自治体の取り組みについて話す時間が設けられた。

	<p>(議 長) 本日の報告事項は以上である。次回会議の日程について、事務局より説明をお願いしたい。</p> <p>(市) 次回会議は、既に開催通知を送付しているが、第4回定例会を2月27日木曜日16時から、601講習室で開催する。</p> <p>以上で議事を終わる。</p> <p><閉会></p>
<p>会議資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和6年度第2回社会教育委員会議臨時会（第33期）次第 ・ 第33期大和市社会教育委員名簿 ・ 【資料1】社会教育委員会議 第2回臨時会 説明資料 ・ 【資料2】大和市生涯学習推進計画（案）に関する市民意見募集の結果について ・ 【資料3】大和市生涯学習推進計画について（諮問） ・ 【資料4】大和市生涯学習推進計画（案） ・ 【資料5】令和6年度社会教育委員に関する研修会等